

# 書籍購入特典 1

カードゲームで年収1000万円

達成した人の軌跡

## 始めに

本 PDF は、「世界一簡単なカードゲーム販売の教科書」の特典となります。

## 書籍

<https://amzn.to/2TOpeU6>

この特典では、デュエルマスターズというカードゲームで2011年に年収1000万円を達成した方がどのようにしてそこまで稼いだのかを解説していきます。

1000万円という驚異の収入を達成したのは、現在「つっきーチャンネル」というチャンネルを運営している加藤卓也さんです。

「つっきーチャンネル」

[https://www.youtube.com/channel/UC7AUEZ5T6JOCX7EIJ\\_yY04Q](https://www.youtube.com/channel/UC7AUEZ5T6JOCX7EIJ_yY04Q)

具体的に加藤さんがいつ頃、どのように行動してその結果を出したのか。

それを知る事で、**あなたにも月収1000万円の道筋が見えてきます。**

デュエルマスターズとは？



デュエルマスターズは2002年5月30日に発売がスタートし、2020年現在も展開が続いている人気カードゲームです。

小学生男子のバイブルというべき月刊コロコロコミックで漫画が連載され続けており、販売から18年が経過した現在では当時のプレイヤーが父親になり、自分の子供に遊び方と教える時代になっています。

当然現在も人気は高く、遊戯王やMTGに匹敵する人気カードゲームとなっています。

加藤さんが年収1000万円を達成したのは2011年なので、現在はブランド化やメルカリなど販売先が増えた事で、当時より稼ぎやすくなっています。

## ●加藤さんの当時の状況

2011年当時、加藤さんは19歳で高校卒業した翌年でした。

浪人しようと思っていましたが、**カード転売の収入が月80万円前後になっていたため、本業にしようとした時期**です。

カード転売は15歳から行っており、開始して4年目になります。

この時に得たお金は全てビジネス本やセミナーなど、自己投資のお金として利用しています。

儲けたお金を贅沢に使ってしまう人は多いですが、無駄遣いせず勉強に使ったことで現在はさらにビジネスで成功しています。

## ●年収1000万円の軌跡

お待たせしました。

ではここから、加藤さんが年収1000万円を達成した方法を一つずつ解説してきます。

加藤さんが利益のでるカードを手に入れた方法は、以下になります。

- 1、トレード
- 2、リサイクルショップ・ネットオークション
- 3、海外からの輸入

具体的に方法を説明します。

### 1、トレード

大会やイベント時に、他の参加者とカードのトレード（交換）を行いました。

トレーディングと名の付く通り、カードゲームではトレードがよく行われています。

ここでトレードというと、人気のあるレアカードを集めることを考えるかもしれませんが、加藤さんはその逆を狙いました。

人気のあるレアカードをあげて、カードとしての人気は低くても売値が高いノーマルカ

ードを中心にトレードしていました。

もちろんレアカードもトレードしますが、人気の高いレアカードを出せば、ノーマルカードを一度に複数枚交換してくれるからです。

カードゲームはカードのレアリティが高かったりイラストが綺麗なカードは手に入りやすく人気も高いので、欲しがるプレイヤーは多いです。

子供は特にそういったカードが好きなので、**低年齢層のプレイヤーが多いデュエマではさらに効果的です。**

## 2、リサイクルショップ・ネットオークション

リサイクルショップのカードゲームコーナーやカード専門店、ネットオークションで安く販売されている物を購入し、値段を付け直してヤフオクで販売を行いました。

新しいカードと組み合わせると強くなる物を予測して値段が上がる前に買い集めておいたり、強いプレイヤーが使っているカードをいち早く集めて人気が出て価格が上がったら販売もしていました。

意外と効果的なのは、**通販で10円で販売されているカードを定期的に買い集めて、1万枚まとめてネットオークションに出すと50万円で業者が買ってくれる事もありました。**

安価なカードでも販売時期をズラしたりまとめ売りする事で、大きな絵利益を得ることができます。

## 3、海外からの輸入

意外と知られていませんが、デュエマは海外でも発売されていました。

2004年3月5日に「怪獣道 (Kaijudo)」という名前で、2012年に「Kaijudo: Rise of the Duel Masters」というタイトルで展開されました（現在はどちらも終了）。

カードは一部異なるものの、基本的には同じ能力を持っています。

日本と海外では流通量の違うカードがあり、加藤さんはここに目を付けました。

当時日本で大会限定で配布されたあるカードが、2～3万円で取引されていました。

しかし英語版は同じカードなのに普通に流通していたらしく、1ドルで大量に販売され

ていました。

そちらを海外から仕入れて日本のネットオークションで1万円で販売し、高い利益を得ていました。

120円以下のカードが10000円で売れる。

2011年からそれだけ利益率の高い商品を販売していたとは驚きです。

## ●販売数

ここで気になるのは、加藤さんは年収1000万円になるためにどれだけの商品を出品して、取引を行っていたのかという点です。

加藤さんは一番多い時期だと、ヤフオクで2000商品ほど出品していました。

毎日10~20件ほど落札され、月400~500件の取引がありました。

新弾が発売されるとトレードや交換用のパック購入を行うため、**発売日には鈍行の電車で地方まで行って、深夜自転車でコンビニをひたすら回っていたそうです**

南は鹿児島、北は仙台まであちこち行きました。

ヤフオク評価は5000以上あり、ストアとしてもかなり大御所だったようです。

## ●最後に

これが加藤さんが年収1000万円に行くまで道のりになります。

当時は販売できるプラットフォームがヤフオクしかなく、出品がかなり大変だったそうです。

今はメルカリやラクマなどスマホで出品できるフリマアプリが増え、デュエマも全体的に相場が上がっているので、2011年当時より遥かに稼ぎやすくなっています。

本書では国内外のオススの仕入れ方法や販売方法を紹介しているので、加藤さんのやり方を参考に、すぐにでもカード転売始めてください！

2020年3月 後藤 寛